

平成30年度 第1回 江別市立病院経営健全化評価委員会

日 時：平成30年8月27日(月) 18時32分～19時26分
場 所：江別市立病院 2階 大会議室

出席者

委員：3名

西澤寛俊委員長、水野克也委員、樋口春美委員

市立病院：17名

富山院長、岸本副院長、信太副院長、黒木看護部長、
吉岡事務長、千葉次長、稲田医事課長、池田病院情報システム課長、
横澤医療安全管理部長、木村薬剤科長、佐藤放射線科技師長、
高橋臨床検査科技師長、平川臨床工学科技師長、今野栄養科長、
奥山リハビリテーション科主幹、清水副看護部長、岩塚副看護部長
(医事課、病院情報システム課職員出席あり)

事務局：佐野管理課長、大津財務係長、澤田主任、富岡主任

次 第

- 1 開会
- 2 院長あいさつ
- 3 議題 (1) 平成29年度決算概要について
(2) 医師数の状況について
(3) 平成30年度診療収益の状況(4月～7月)について
(4) 新公立病院改革プランの指標管理について
(5) 病棟再編について

	<p>18:32 開会</p> <p>委員の皆様、本日は大変お忙しい中、平成30年度第1回江別市立病院経営健全化評価委員会にご出席いただき、ありがとうございます。</p> <p>まずは私の方から、4月の人事で幹部職員に異動がありましたので、紹介させていただきます。</p> <p>まず、 院長の 富山 光広(とみやま みつひろ)です。 外科系担当の副院長の 岸本 隆史(きしもと たかふみ)です。 診療技術担当の副院長の 信太 知(しだ さとる)です。 なお、内科系の副院長については院長事務取扱としております。 次に事務局ですが、 医事課長の 稲田 征己(いなだ まさき)です。 病院情報システム課長の 池田 税(いけだ おさむ)です。 以上です。 よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、開催に先立ちまして、院長よりご挨拶をお願いいたします。</p> <p>————— 院長挨拶 —————</p>
富山院長	<p>委員の皆様、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>本日は、平成30年度の第1回ということで、色々ありますけどもご意見等いただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
佐野課長	<p>早速ではございますが、西澤委員長に進行をお願いいたします。</p>
西澤委員長	<p>それでは第1回江別市立病院経営健全化評価委員会を開会いたします。</p> <p>早速ですが議題に移りたいと思っております。 議題1について事務局より資料の説明をお願いします。</p> <p>————— 議題(1) 平成29年度決算概要について —————</p>
佐野課長	<p>資料の説明の前に、簡単ではございますが、平成29年度の決算にかかる概要についてご説明させていただきたいと思っております。</p> <p>平成29年度は新公立病院改革プランに基づき、DPC制度や地域包括ケア病棟の効果的な運用を進めるとともに、精神科リエゾンや認知症ケアに関する新たな多職種連携に取り組むことで収益の改善を図ってまいりました。</p> <p>また、来院者や職員等へのサービス向上のため、既存の食堂と売店を統合して、コンビニエンスストアを設置し、院内アメニティの充実に努めてまいりました。</p> <p>しかしながら、重要課題である診療体制の整備について、前年度末に総合内科医</p>

	<p>が退職したことなどにより、医師数が減員となり、患者数、診療収益がともに大きく減少する結果となったところであります。</p> <p>このような厳しい経営状況を改善するため、総合内科医の独自採用のほか、専門医の招へいに向けた医育大学への要請に、これまで以上に積極的に取り組むとともに、材料費をはじめとする経費削減を推し進めたものの、結果として、収益の減少をまかなうまでには至りませんでした。</p> <p>以上が、平成29年度の決算の概要ということになります。それでは資料の説明に入りたいと思います。</p> <p>(議題(1)について、資料1に基づき説明)</p>
西澤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題(1)について、ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
西澤委員長	<p>全体として色んな要因があると。かなり実績が悪いと思います。</p> <p>また後ほどの資料と合わせて確認したいと思います。</p> <p>それでは議題2について事務局から説明願います。</p>
佐野課長	<p>——— 議題(2)医師数の状況について ———</p> <p>(議題(2)について、資料2により説明)</p>
西澤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題(2)について、ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
西澤委員長	<p>やはり内科系で大幅に少なくなっています。28年度の55人から13人も減っています。全体の業績はかなり落ちていますが、医師数をみると、やむを得ないのかなという思いもあります。</p> <p>それでは議題3について事務局より資料の説明をお願いします。</p>
佐野課長	<p>——— 議題(3)平成30年度診療収益の状況(4月～7月)について ———</p> <p>(議題(3)について、資料3により説明)</p>
西澤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題(3)について、ご質問等ありますでしょうか。</p>

水野委員	<p>皆さん非常に努力されているので辛いのですが、入院と外来合わせて50億円は死守しなければならないラインなのかなと思います。</p> <p>もうひとつ、働いている方のモチベーションも考えていただきたいということと、資金繰りについても目を離さないでしっかり見ていく必要があると思います。</p>
樋口委員	<p>働いている方が頑張っていることはたくさんあると思います。水野先生と同じくモチベーションを心配していますけれど、職員が努力していることのアピールだとか、例えば看護師さんの活躍とかを外で聞いたりすることもありますから、色々な職種が努力していることを知ってもらうことが大事なのかなと思っています。</p>
西澤委員長	<p>先ほどの29年度の実績もそうでしたが、今年度も非常に厳しい状況にありまして、日本全国的にそうですが、やはり医師が足りない。</p> <p>こういう状況のなかで、働き方改革という、輪をかけて大変になってきて、医師に頑張ると言い辛い、経営者がそういうことを言っはいけないという雰囲気になってきており、非常にやり辛い状況にあります。市立病院の中でも、同じような状況があるのではないかと思います。</p> <p>厳しい経営状況ですけど、職員の方々のモチベーションが何とか落ちないようにと思います。</p> <p>数字ですが、7月だけ見ると、少し上向いて良い傾向があるのかなと思います。やはりDPC導入で単価を上げてきていることと、地域包括ケアの効果、少ないながらも単価の改善というものがあります。外来の方も少し改善しているようですし、明るい材料も少し若干見えているので、少しずつですが結果が出てきているのではないかと思います。</p> <p>それでは議題4について事務局より資料の説明をお願いします。</p> <p>———— 議題(4)新公立病院改革プランの指標管理について ————</p> <p>(議題(4)について、資料4により説明)</p>
佐野課長	
西澤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>議題(4)について、ご質問等ありますでしょうか。</p> <p>(なし)</p>
西澤委員長	<p>28年度と29年度の比較では、かなり伸びている項目もあり、大変努力しているなどと思いますが、経営改善の部分については中々厳しいところがあります。</p> <p>平均在院日数は短くすればするほどベッドが空くわけで、稼働率が下がりますが、いざ延ばすとなっても稼働率は上がっても単価は下がるわけですから、非常に難しい問題だと思います。</p>

	<p>30年度は厳しい中で、7月の手術件数は200件を超えたということで、良い傾向です。一方救急の受け入れは減少していますので、これはやはり問題であろうと思います。</p> <p>経営とは何かということを考えた時に、ただ指標値があれば良いわけではありません。病院の存在というのは、地域において、質の高い医療の提供、地域住民の健康を守るということです。そういうことからみて、救急患者の搬送が少ないということは、地域の方に十分に提供できていないと。</p> <p>医師が少ないからという理由であるとするならば、病院だけの努力では駄目で、住民と一緒にやっていくということも必要です。</p> <p>全国的にもそういう傾向がありまして、有名なのが産婦人科の無かった町が、自治体や住民が動くことによって、招へいに成功したというような事例もあります。</p> <p>それから、医師が少ないということにどう対応していくかということですが、医師ではなくてもよい仕事を医師がしていないかという観点で見直して、医師でなくてはならない仕事に集中してもらおうと。少ない人数のなかでも患者さんを診ることができると思います。こういうことは看護師も同様です。</p> <p>厳しい医療環境の中で、こうしたことがきちんとできているのかを今一度確認をして、検証しながら改善につなげて欲しいと思います。</p>
西澤委員長	<p>それでは議題5について事務局より資料の説明をお願いします。</p>
稲田課長	<p>——— 議題(5)病棟再編について ——— (議題(5)について、資料5により説明)</p>
西澤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>病棟管理という意味では効率的だと思いますし、病床利用率は上がる可能性が高いですので、まずは満床目指してやっていただく必要があります。</p>
樋口委員	<p>自分がいつも思っていることはピンチをチャンスに変えるということで、こういう時こそ院内の皆さんが力を合わせて欲しいと思います。外来や訪問看護の件数が伸びたり維持されたりしているということは、住民の皆さんがそこを頼りにされていると思うので、在宅医療等にもっと向けるとか、今一番考える時ではないかなと。今あるものを最大限に活かすということは、「管理」という点で私たちにとっても課題としているところですが、是非元気を出して、アイデアを出して前に進んでいただきたいと思います。</p>
西澤委員長	<p>数字だけ見るとかなり厳しいですが、今は一番底なので、これから上がっていくしかないということです。</p> <p>先ほど「管理」と言いましたが、病院は組織ですから、組織である以上「管理」が必要です。組織というのは理念・目的を持ってみんながそれに向かってやっていく。</p> <p>俗に言うTQMというのは、職員が一丸となって、目的に向かっていく活動だと思</p>

	<p>ます。こういう時こそしっかりやりながら、組織としての基盤をしっかりさせるチャンスでもありますので、よろしくお願いします。</p> <p>我々も中々具体的な支援ができないので、申し訳なく思っています。何とか少しでも役に立てればと思いますので、よろしくお願いします。</p> <p>——— その他 ———</p>
西澤委員長	<p>それではその他について、何かありますでしょうか。</p>
佐野課長	<p>次回の開催日程ですが、通常ですと予算の時期になります。</p> <p>ただ、病院として色々変えていかなければならない時期でもあり、必要によっては、委員の皆様にお集まりいただくこともあろうかと思っておりますので、その点はお含みおきくださいますようお願いいたします。</p>
西澤委員長	<p>それでは以上をもちまして平成30年度第1回江別市立病院経営健全化評価委員会を終了いたします。</p> <p>19:26 閉会</p>